

○ にじますは半年でこれぐらい成長します、お玉は成長しません



大ききの目安にお玉を置いてみました。
これがホントの「杓子定規」

6月号の通信でお知らせしましたように、この春に仕入れた魚が大きさがバラバラで料理に使うのに苦労しました。小さめをから揚げ、大きめを塩焼きにしていたのですが、大きすぎると使い道がなく、仕方なく別の池に移して飼っておりました。結構大きくなってきたな、と思い先日一匹すくってみたのが写真の下の魚です。上の魚が塩焼きにする大きさですので、ずいぶんと成長してますね。このままいけば来年の春には刺身やあらいにできる... といいいのですが、残念ながら冬場は成長が止まってしまう。今の大きさとフライなどの切身

用にするか、もう一年飼い続けて来年の秋に刺身にするか、エサ代を考えると迷うところです。どっちがいいか魚に訊いてみたいものです。「どっちも嫌だ、川に逃がしてくれ」って言いますかね。

○ 新しくなった松久園の営業車、に気づいた方は果たしているのだろうか

藤丸にテナント出店していた頃は週に4日ほど商品を配送していましたので、芽室や帯広の街中で当園の車を見かける機会もあったかと思えます。藤丸へ走らなくなつてからめっきり出番は減ったものの、走行距離は13万キロを超え、塗装も剥げ、最近ではエンジン音も怪しくなっていました。実は一年前に入れ替えを予定していたところ昨今の部品不足でリース更新のタイミングに納車が間に合わない、ということで一年先延ばしになっていました。自分が普段乗る車ならばガラッと雰囲気を変えたいところですが、なにぶん料理の配達用という用途を考えると同じような車ということで、メーカーは違えどほとんど外見は一緒。一年待たされたとはいえ今ひとつワクワク感に欠ける納車となりました。まあ、外見は変わりませんが、運転席に座った時の「ににおい」で新車気分を味わっています。



上下の写真で異なっている所を7カ所見つけてください。と、言えるぐらい代わり映えのしない車の入れ替えでした。

○ 火花が飛ぶのは漫画の中だけのことだと思っていました



事故現場。最初は何が起こったのかわかりませんでした。

閉店後、店に一人が残っているときのことで。トイレに行こうと廊下へ向かうと電灯はついておらず真っ暗。とはいえ二十年以上ほぼ毎日使っている廊下だし目をつぶっても行けるだろう、と電灯をつけずに向かいました。左手で壁を触りながら、端まで来たのでここで左に曲がると... ×&%△#!!曲がり角の数十センチ手前で曲がったようで、柱に激突しました。あわててスイッチを探して電灯をつけると、視界がゆがんでいます。

長いメガネ人生、何度かメガネを壊していますが、おそらく一番間抜けな壊し方では。それにしても思い切りぶつかるとうちに目の前が光るんですね、思わぬ発見でした。